

科目区分	専門分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	生活を整える技術Ⅲ（食事・排泄）			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ						
テキスト以外の教材・参考書等	1) メディックメディア 看護が見える①基礎看護技術 2) インターメディカ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>人間にとって「食べる」こと「排泄する」ことは生命を維持するために重要な役割をもつ。必要な栄養が消化吸収を経て、排泄されるまでのプロセスを、既習学習である人体の構造と機能を踏まえながら理解できるようにする。食事援助、排泄援助の基本技術の演習を行い、食事・排泄の日常生活行動を整えるための基本的知識と技術の習得につなげる。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「食事」「排泄」の意義について理解できる。 2. 「食事」「排泄」のメカニズムや基礎知識について理解できる。 3. 「食事」「排泄」を阻害する要因について理解できる。 4. 「食事」「排泄」の援助方法について理解できる。 5. 「食事」「排泄」の基本的援助技術を習得できる。 							
評価方法	筆記試験 実技試験 演習参加状況 レポート						
備考	食事介助、床上排泄の援助、おむつを用いた排泄の援助、陰部洗浄の援助計画を事前に記載し、演習時に持参する 課外の時間を利用し、実技試験項目の練習が必要になる 関連科目：自然科学(生物学), 解剖生理学, 生化学, 栄養学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	食事・栄養摂取を促す技術 食事・栄養の意義 食事に関する生理学的メカニズム	
2	食事と栄養に関する基礎知識 栄養状態のアセスメント	
3	食事介助の実際 経管栄養法の実際	講義・DVD
4	高カロリー輸液の実際	
5	食事・栄養に関する援助の実際 経口食事介助	演習
6	経管栄養法の実際	
7	排泄を促す技術 排尿・排便の意義 排尿・排便の生理的メカニズム	
8	排尿・排便に関する基礎知識 排尿、排便障害の種類	
9	排尿・排便の援助の実際 床上排泄 おむつを用いた排泄 ポータブルトイレでの排泄	講義・DVD
10	導尿 浣腸 摘便	
11	排尿・排便の援助の実際 導尿、 浣腸	演習
12	排泄と陰部の清潔 (床上排泄の援助、おむつを用いた排泄の援助)	演習 実技試験
13		
14		
15	終講試験 まとめ解説	